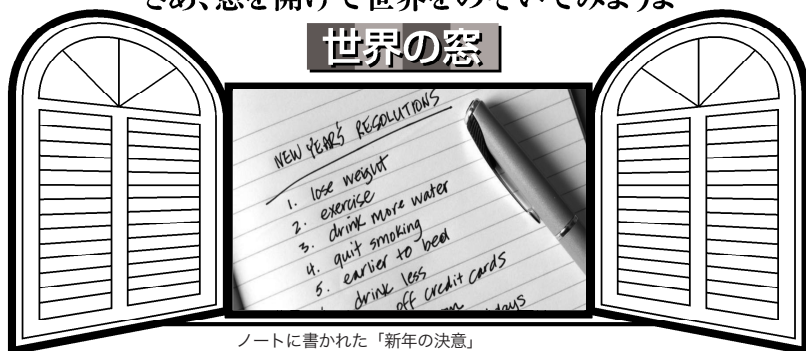


World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ

世界の窓



ノートに書かれた「新年の決意」

世界の国々や文化を紹介する「ワールズ・ウィンドウ」！ 案内役は、国際交流員リサアン・カワチさんとエイミー・タッペンデンさんです。

Vol.93 アメリカ人の新年

HAPPY NEW YEAR! あけましておめでとうございます。リサアンです。わたしは年末からフッドリバーに里帰りして、家族と一緒に新年を過ごしました。やはり家族と迎える新年はいいものですね。さて、アメリカ人には、新年を迎えるとき、個人的な年行事のような習慣があります。今回は、そのアメリカ人の習慣をご紹介します。

アメリカでは新年は新しい生活をもたらす新しい始まりを表します。

少なくともアメリカの半分以上の多くの人々が新年の決意をします。

新年の決意は個人的な目標で、生活習慣を変え1年以内に達成することを望みます。

大抵これらの決意は1月に決め、1年を通して実行する意志を持って立てられます。

そして普通は決意の一覧表を作ります。昨年（2012年）の新年の決意ベスト10は次の通りでした。

- 1、 体重を減らす
- 2、 計画性を持つ
- 3、 浪費せず貯蓄をする
- 4、 十分に生活を楽しむ
- 5、 良いコンディションで健康を保つ
- 6、 何か新しい事やワクワクするような事を学ぶ
- 7、 タバコをやめる
- 8、 他人の夢をお手伝いする
- 9、 恋をする
- 10、 もっと家族と一緒に過ごす



新年に決意をする伝統は紀元前153年まで遡ります。そのころ古代ローマ時代の神話上の出入り口と扉の神ヤヌス（Janus）がカレンダーの先頭に位置づけられました。古代ローマ人は、ヤヌス（Janus）へ約束をすることからその1年を始めました。そのため1月は（January）と名付けられました。ヤヌスは頭の前と後ろに2つの顔を持っていることで知られています。彼の2つの顔は同時に前と後ろを見ることができます。12月31日の真夜中に、彼の2つの顔は過去の出来事を振り返ると同時に未来を予期します。ヤヌスは古代ローマの決意の象徴となり、多くの古代ローマ人たちは、1年が始まる前に敵からの許しを求め、幸運をもたらす神聖な木々の枝をお互いに与えあうようなプレゼント交換をしていました。その後この伝統は発展し、木の実やヤヌスの神が刻印されたコインをあげることが、一般的な新年の贈り物となりました。

最近の決意の多くは、以前より上辺だけや外見を重視する

ものに集中しています。19世紀の終わりでは、典型的な10代の少女たちの新年の決意は「良い仕事」に関することに集中していました。自己中心的にならないこと、もっと人の助けになること、もっと勤勉な労働者になること、内面的な性格を改善することなどを決意していました。体型、健康、ダイエットや財産を望むような決意を言うことはほとんどありませんでした。

20世紀の終わりでは、典型的な10代の少女たちの決意は「美貌」に関することに集中していました。彼女たちは体型、髪型、化粧、洋服などを改善することを望みました。

新年の決意をするアメリカ人の情熱は、決意の達成率と同様に変化していきます。実際、新年の決意をする多くの人々は決意を達成できません。わずか8%の人たちだけが実際に新年の決意の達成に成功するのです。たとえ新年の決意を達成することができなくても、決意について考え実際に決めることは、明確に決意を決めないよりは達成する可能性がより増してきます。元日の習慣やお祝いは文化ごとに異なっていますが、元日は常にお祝いをしたり来る年の幸運を願ったりする時間です。たぶん皆さんも以前から考えていたライフスタイルの変更や目標があると思います。多くのアメリカ人が1月にするように、今が新年の決意を考える時であり、2013年にこれらの目標を達成するため、そして変化するための計画を見つける時期かもしれません。もしも今年、新年の決意を達成できなくても悩まないでください。皆さんはいつでも翌年には再び挑戦することができます。皆さんの幸運をお祈りします。 Good luck!

